

【令和5年度授業改善推進プラン 社会】

板橋区立高島第三小学校

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業での発言や活動の様子、ノートに書いた振り返りやワークテストの結果などから見ると、学習問題に対しては真面目に取り組むとともに、地図記号等の内容については身に付けている児童が多い。・上学年にあっても都道府県の名称と位置、四（八）方位に関する理解が不十分な児童が見られる。・グラフ、図の読み取りや文章資料の活用問題になると、正確に事実を取り出せない児童が多く見られる。特に情報量の多い資料や複数の資料から自分に必要な情報を取り出すことに課題が見られる。・読み取ったことをもとに、分かったことをノートなどにまとめる際、どのような言葉を使って文章化し、まとめればよいかに悩んでしまう児童の姿も見られた。・資料から得た複数の事実を関連させて考えることや、その意味を問う問題を苦手とする児童が多く見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none">・板橋区の位置、都道府県の名称と位置、四（八）方位など社会科における基礎的知識の定着が課題である。・目的に合わせてグラフや解説文等の資料を正しく読み取り、分かったことや考えたことを文章や図などで表現する力を伸ばすことが必要である。・児童が主体的に学習問題を考えたり、調べたり、意味について考えたりする授業を実践できるように授業を工夫する。そのため、板橋区授業スタンダードに則り、学習のめあての把握、自力解決、集団での検討、めあてと連動したまとめといった学習の流れを定着させる必要がある。

<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none">・地図の読み取り、都道府県の名称と位置などは、地図帳を活用する場面を意図的に設定し、繰り返し指導することで定着を図る。・板橋区授業スタンダードの学習の流れを基本に指導を重ねることを継続する。1単位時間の中に児童一人一人が自力解決する時間を設定するとともに、児童同士で情報交換や意見交換をして学び合う機会を設ける。・意見交換や討論する場を設定したり、互いの作成した新聞やポスター等を見合ったりすることでよい学びのモデルに触れさせ、自己の学習の向上に生かせるようにする。・資料等から読み取ったことを言語化し、適切に文章にまとめる活動を意図的に設定するとともに、用語の意味を丁寧に指導する機会をもつことで、用語を正しく活用できるようにする。・本時の学習におけるキーワードやまとめる際の文型を提示し、分かったことや考えたことを文章や図などで表現する力を伸ばす。・提示するグラフや図などの資料を精選するとともに、算数の指導と関連させながら、資料を活用する能力を身に付けさせる。・調べまとめる活動の時には、ICT機器を積極的に使用したり、資料をデジタルで提示したりすることで、必要な情報を収集し、情報を読み取り、情報を分類・整理してまとめたりする力を身に付けさせる。
-------------------------	---